

■ ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎の感染拡大防止について

全国的にノロウイルスなどによる感染性胃腸炎の流行が続いています。ノロウイルスは、便や吐物などに大量に含まれています。基本的な予防対策は、手洗いを励行することです。その他、吐物が感染源になるため、吐物をすみやかに適切に処理することも大切です。

キャンパス内で嘔吐している人や嘔吐した物を発見した場合は、速やかに体調不良者の救護及び吐物の処理を行う必要があるため、初期的な対応について、添付ファイルのようにまとめました。

皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。